

藤沢サステナブル・スマートタウン文化祭 2019 にブースを出展しました！

三井住友信託銀行では、パナソニックグループの工場跡地（藤沢市）を活用した「まちづくり事業」に、日本を代表する各社（パナソニック、三井物産、三井不動産レジデンシャル、東京ガス、電通等）との共同事業として金融機関として唯一、参画しています。日本初の実稼動スマートシティ Fujisawa サステナブル・スマートタウン（以下、Fujisawa SST）は今年でグランドオープンから5年経過し、100年続くまちをコンセプトに国内外から注目されています。

Fujisawa SST では2016年より毎年秋にFujisawa SST文化祭が開催されており、当社は昨年よりブースを出展しています。

Fujisawa SST ツリーをみんなで作ろう！

2019年11月17日（日）は雲一つない快晴に恵まれ約4,300名の来場者で会場は大変賑わいました。今年の文化祭テーマは「Co-Creation Festival *みんなで創るいちにち*」で、当社はミニワークショップブース「Fujisawa SST ツリーをみんなで作ろう！」を出展しました。金融機関である私たちは、国連の発信するSDGs（持続可能な開発のための目標）の達成のために具体的な取り組みを推進することに加え、地域コミュニティに向けてSDGsを普及啓発することも、大きな役割として担っています。

Fujisawa SST文化祭に参加するにあたり、私たちは「藤沢の皆さまにSDGsや当社の取り組みについて知っていただきたい」と思い、ワークショップ形式のブースを企画しました。神奈川県政策局SDGs推進課の皆さまにもご協力いただき、素敵なブースを作ることができました。



ミニワークショップでSDGsを「ジブンゴト」に！

ミニワークショップには、ご家族連れを中心に約70組約200名のお客さまにご参加いただきました。SDGsや当社の取り組みについて簡単に説明させていただいたあと、興味のあるSDGsの目標の一つを選んで、その目標達成のために自分ができることについて考え、用紙に記入していただきました。用紙はクリスマスツリーのオーナメントとして飾り付けていただき、記念撮影！お写真はその場で現像し、文化祭の思い出としてお持ち帰りいただきました。



イベント終了後にツリーをみると、小さなお子さまからご高齢の方までの様々な思いでカラフルに彩られたFujisawa SSTツリーが出来上がっていました♪

湘南の海が近いこともあり、SDGs目標14「海の豊かさを守ろう」を選ばれた方が多く「ゴミはゴミ箱に捨てよう」「海にゴミが流れないようにする」「プラ製品を使わない」等の具体的な取り組みが書かれているオーナメントが多くありました。

藤沢支店・藤沢中央支店では、「私たちのSDGs宣言」として『地域の皆さまとともに湘南の海を守る活動に取り組むこと』を宣言しています。私たちひとりひとりがSDGsについて知り、小さな心がけや行動を積み重ねることによって、少しずつ明るい未来を手繰り寄せられることを実感した一日でした。

三井住友信託銀行は今後も、地域の皆さまへのSDGs普及啓発に注力してまいります！

